

私立大学図書館協会東地区部会 2024年度「管理職研修」概要

私立大学図書館協会 東地区部会長校
帝京大学メディアライブラリーセンター

1. 研修の目的および今回のテーマ

[目的]

本研修は、私立大学図書館協会東地区部会に加盟している大学の図書館構成員が参加する研修カリキュラムを構築し、私立大学図書館の館員育成及び発展に寄与することを目的としています。

近年、図書館管理職対象の研修は少なく、大学図書館界の状況を知る機会が貴重となっています。図書館での業務経験の浅い管理職にとってだけでなく、大学図書館が直面している課題を把握することは管理職として視野を広げるために必須であることを踏まえ、今年度の管理職研修を企画いたしました。

本研修では、大学図書館の現状と課題を共有し、意見交換を通して図書館運営の方向性の発見から有効なマネジメントに繋げることを目指しています。また、研修終了後も管理職間の今後につながる交流機会を提供することを、副次的な目的としています。

[テーマ]

「大学図書館が抱える課題の共有から、解決策の発見へ！」

学術情報基盤実態調査の「大学図書館の管理運営等において、解決すべき課題のうち重要と考えるもの」という問いに対する回答結果と、最近の国の政策動向をもとに、下記の4つの課題を取り上げます。

課題1. 電子ジャーナルをめぐる問題：価格高騰や円安で経費の課題として、コンソーシアムや転換契約、OA化の動向に注目する必要がある。また設備面の課題として、電子ブックを含む多様なリソース(資料)を扱うことや、従来の所蔵・蔵書という概念の転換期にあたり、様々な課題が浮上していることについて情報共有する。

課題2. 学生の自学自習のための支援：ラーニングコモンズの普及に伴い、ラーニング・スペース(場)の活性化が課題である。また「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ)」で言われる物理的な場所に制約されない、機能として学習(学修)支援を捉える必要性や、学生協働のあり方などについても意見・情報交換する。

課題 3. 人材の確保と育成：業務委託や臨時職員の割合が増加傾向にある一方で、大学図書館の機能の高度化においては、学術資料に関する専門的知識や、メタデータ運用等の新たな知識やスキルをもった人材が求められている。また、頻繁な人事異動が行われる状況では、研修の成果を持続・継承していくため、1対1の引き継ぎから、図書館間の連携による研修の在り方も課題である。

課題 4. オープンサイエンスの対応：国際的なオープンサイエンスの推進に向けた G7 協力の方策に基づき、「統合イノベーション戦略 2023」の一環として「公的資金による学術論文及び研究データの即時オープンアクセス（OA）化を担保する体制を整備するため、研究データポリシーに基づく事業計画を策定している大学を対象として、研究成果の管理・利活用システムの開発や運用、OA 化促進に係る経費を支援」が予算化された。具体的には不明な点が多く、情報交換を行う。

2. 対象者

私立大学図書館協会東地区部会加盟大学図書館に勤務する専任職員の管理職

3. 開催日時・開催方法

2024 年 10 月 4 日（金）13：00～17：00 オンライン開催（Zoom）

4. カリキュラム・講師

[カリキュラム]

時間	カリキュラム	備考
13:00-13:10	開会	部会長校挨拶
13:10-14:00	基調講演	杉田茂樹氏（京都大学附属図書館事務部長） 「大学図書館の現状と課題（仮題）」
14:10-15:00	グループディスカッション①	グループ別に自己紹介、役割決め、グループテーマ設定、全体への発表
15:10-16:00	グループディスカッション②	グループテーマに関する意見（情報）交換、課題と解決策の整理、全体への発表
16:10-16:50	情報交換・講評	司会者を中心にグループ間の情報交換
16:50-17:00	閉会	部会長校（アンケート記入を含む）

※時間配分は、グループ数や質疑応答の有無により変更となる場合があります。

[基調講演]

講師：杉田 茂樹 氏（京都大学附属図書館事務部長）

内容：国の政策動向を踏まえ、大学図書館の管理運営において解決すべき現在の課題について、管理職向けにご講演いただきます。

[グループディスカッション]

参加者を4つの課題テーマごとに、5～6名のグループに分け、ブレイクアウトルームを設定し、グループごとに意見（情報）交換を行う。

- ① 自己紹介、問題意識フリートーク、役割（司会・記録・発表）決め
グループごとの具体化したテーマを設定し、グループテーマを発表する。
- ② グループテーマについて意見（情報）交換を行い、課題の整理と解決策をまとめ、話し合った内容を全体に発表する。

※ 課題テーマについてはグループ分け調整のため、参加申込時に第2希望までご選択いただきます。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上